

九州共立大学

経済学部

2023 年度

カリキュラムマップ

総合共通科目

(2019~2023 年度入学生)

| <p>学是 (学則第1条の2)</p> | | | | <p>本学は、建学の精神「自律処行」、すなわち自らの良心に従い事に処し善を行うことを学是とし、この学是に則り、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる人材を育成する。</p> | | | | |
|--|-------------------|-------|------|---|--|---|---|--|
| <p>経済学部の人材養成及び 教育研究上の目的等 (学則第3条の3)</p> | | | | <p>経済学部は、学是「自律処行」の精神に基づき、少人数制によるキャリア支援教育、総合教養教育、経済学・経営学の専門教育等を通じて、質の高い学士力を有し、多様化し複雑化する現代社会に適応できる、幅広い職業人を養成することを目的とする。</p> <p>【経済・経営学科】 経済・経営学科は、経済学領域・経営学領域を広く学び、環境や消費者保護、企業倫理などの公共の視点に立ち、社会におけるさまざまな問題を解決できる経済・生産活動の担い手となる人材を養成することを目的とする。</p> <p>【地域創造学科】 地域創造学科は、経済・経営学の科目を基盤に、地域創造に関する専門的知識を学び、PBL(Problem-Based Learning)やアクティブラーニング型の授業を重視した教育課程により、地域を構成する多様なステークホルダーと協働し地域社会の振興と発展に寄与できる実践力を身につけた人材の養成を目的とする。</p> | | | | |
| <p>卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー：DP)</p> | | | | <p>本学は、学是「自律処行(自らを律することができ、自ら考えて判断し、責任を持って行動する)」を体現し、総合的な教養、特定専門分野に関する知識を身につけ、深い考察力を備えることを目指す。その実現のために、卒業認定・学位授与の方針(DP)を3つの領域(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性・倫理性)から構成し、各課程を修め、目標を達成した学生に卒業を認定し、学位を授与する。</p> <p>【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。</p> <p>【主体性・協働性・倫理性】 高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。</p> | | | | |
| <p>教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー：CP)</p> | | | | <p>本学では、学生が大学の卒業認定・学位授与方針(DP)の目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。</p> <p>【教育内容】 1. 総合共通科目は、「教養教育科目」、「キャリア教育科目」を中心に、現代社会を生き抜くために必要不可欠な幅広い教養、および基礎学力等を体系的に学べるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、各学部・学科の専門的知識を修得するために、基礎的内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。また、学問領域を超えた学際的な知識修得科目を配置する。</p> <p>【教育方法】 1. 学生の主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)が実現されるように、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業などの多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。 2. 学外実習等を通じて体験的な学修活動を実施する。</p> <p>【教育評価】 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価方法に従い単位を付与する。 2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。</p> | | | | |
| <p>経済学部のカリキュラム</p> | | | | <p>卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係【◎特に関係する ○関係する】</p> | | | | |
| 科目区分 | 授業科目名 | 配当年次 | 開講学期 | 授業概要 | 授業到達目標 | 【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。 | 【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。 | 【主体性・協働性・倫理性】 高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。 ※「倫理性」は2023年度以降の入学学生より適用 |
| 総合共通科目 | 【経済・経営】 福原学 | 1年生 | 前 | 1. 大学生生活に必要なスキルを学ぶ 2. 本学の歴史と理念を学ぶ 3. OBの講演を通して本学学生としての自覚をさらに促す 4. 面談を通して学生・担任間の意思疎通を高める 5. 大学の施設と各部署の機能等を理解する 6. 大学・学生間の伝達を効果的に行う | 1. 建学の精神である“自律処行”を理解し、大学生生活を通して自ら実践することができる 2. 共立大生としての自覚と誇りを持つことができる 3. 社会のしくみや自身のキャリアをより深く考えるきっかけをつくることできる 4. 効果的に大学生生活を送るための修学スキルを身につけることができる | ◎ | ○ | ○ |
| 総合共通科目 | 【経済・経営】 福原学(留) | 1年生 | 前 | 本授業は、大学全般に関する知識、大学での学び方、効果的な留学生活を送るための就学スキルを修得することを目的とします。具体的には、留学先として選んだ九州共立大学および福原学園の建学の精神(学是)、歴史などを知らるとともに、留学生生活をサポートする大学の施設や各部署の役割などを理解し、大学での学び方(アクティブラーニング・グループディスカッション・レポート作成)を身につけることを目指します。 | 1. 九州共立大学および福原学園の歴史や建学の精神について、その概要を説明することができる。 2. 九州共立大学の設備・施設に関して、その概要を説明することができる。 3. レポート作成の基本を身につけることができる。 4. グループでディスカッションする基本を身につけることができる。 | ○ | ○ | ◎ |
| 総合共通科目 | 【経済・経営】 福原学(再) | 2-3年生 | 前 | この授業は、大学生生活を円滑に送るようになるための基礎科目であり必修科目である。授業では、大学で学ぶために必要なスキルについて説明する。また、経済や経営に関して興味のあるテーマを見つけることを目指す。 | 1) 大学生生活を送るために必要な修学スキルを身につけることができる。 2) 自己分析を行うことができる。 3) 経済・経営に関する出来事に目を向けることができる。 | ◎ | ○ | ○ |

| | | | | | | | | |
|----------------|---------------|-------|-----|---|---|---|---|---|
| 総合 共通 科目 | 【地域創造】 福原学 | 1年生 | 前 | 1. 大学生活に必要なスキルを学ぶ 2. 本学の歴史と理念を学ぶ 3. OBの講演を通して本学学生としての自覚をさらに促す 4. 面談を通して学生・担任間の意思疎通を高める 5. 大学の施設と各部署の機能等を理解する 6. 大学・学生間の伝達を効果的に行う | 1. 建学の精神である「自律処行」を理解し、大学生活を通して自ら実践することができる 2. 共立大生としての自覚と誇りを持つことができる 3. 社会のしくみや自身のキャリアをより深く考えるきっかけをつくることできる 4. 効果的に学生生活を送るための修学スキルを身に付けることができる | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | ことばと日本文化 | 1-2年生 | 前・後 | 本講義では、主に1920～50年代の日本の詩を取り上げる。1920年代から1950年代にかけての時期には、関東大震災や太平洋戦争など、歴史の転換点となる数多くの出来事があった。このような激動の時代において、日本の詩人たちは、社会の大きな変化と向き合いながら、詩に関するさまざまな試みを行った。本講義では、特に詩の表現(どのように書かれているのか)に注目し、それが、どのような社会的あるいは文化的背景のもとに生み出され、またどのような文学表現上の効果を持つものであったのかを考察することを目的とする。 | ・日本の詩を自分なりに丁寧に読み解くことができる。・「ことば」による表現と社会や文化の動向との関わりについて考えることができる。・1920～50年代の日本の社会や文化に対する造詣を深めることができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | ことばと日本文化 | 1-2年生 | 前・後 | 本講義では、平安時代の古典文学、特に物語作品を扱い、それぞれの作品における成立背景、伝本、研究史を踏まえて作品を講読する。古典文学の知識は、社会人としての教養、および教育のための専門的な知識や技能の習得に資するのはもちろん、現代の娯楽作品の受容にも関わるものである。また、授業中に適宜くずし字資料に接し、校訂を経ている古典文学の姿を知る機会を設ける。 | 1. 中古の文学作品の名称、作者、成立時期、ジャンルについての知識を持つ。2. 中古の文学作品を読んで理解することができる。3. 中古の文学作品を読んで興味を抱いた点、疑問に思った点を整理し、説明できる。 | ◎ | ○ | |
| 総合 共通 科目 | ことばと日本文化 | 1-2年生 | 前・後 | 日本の伝統的な詩形である歌(歌謡・和歌・短歌)を講読する。現存する最古の文書『古事記』に残されている歌、最古の歌集『万葉集』、小倉百人一首をテキストとして、わが国の伝統と文化を考える視点を提示する。単に、古典和歌の知識を講義するだけではなく、実作を促し、創作物の提出を求める。 | ・古事記、万葉集、小倉百人一首に関する基本的な知識を得ることができる。・日本の伝統文化に対する造詣を深めることができる。・文学作品に描かれた人物・情景・心情の表現とその効果を読みとることができる。・文学作品と人間・社会・自然との関係性を理解することができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | ことばと日本文化 | 1-2年生 | 前 | 遠藤周作は、その作品を通して、日本人とキリスト教との関わりを生涯追究した作家です。人生の意味をあたかく誠実に問う作風は、今もなお多くの読者に親しまれています。また遠藤文学は、代表作『沈黙』のハリウッド映画化、長崎・草津の潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録などにより、近年ふたたび注目され国際的評価も高まっています。この授業では、人間の弱さや苦しみに共感の眼差しを向ける遠藤文学の特徴やテーマについて学び、作品の現代社会における意義を考えていきます。 | 1. 日本文化の諸分野に対する造詣を深めることができる。2. 文学作品を通して「かくれ切支丹(キリシタン)」の歴史を知り、価値観の多様性や異文化との共生に対する視点を養うことができる。3. ことばによる芸術的表現を通して、現代日本人にとって「信じる」とは何かを考え、理解することができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | ことばと日本文化 | 1-2年生 | 後 | 本講義では、日本の現代文学やサブカルチャーにおけるポストモダンを取り上げる。ポストモダンとは1980年代の日本と欧米において流行した、思想・文学・芸術上の潮流のことである。日本では「ニュー・アカデミズム」と呼ばれ、文学批評や絵画、建築といった幅広い学問分野に影響を与えた。この講義では、活字メディア(文学、思想)に限定されない、非活字メディア(映画、マンガ、アニメ)を含む多角的な視野から、日本のポストモダン文化を考察する。 | ・日本の現代文化に関するアカデミックな教養を深めることができる。・1980年代の日本近代文学に関する基礎的な知識を得ることができる。・日本のサブカルチャーを批評的に楽しむことができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | スポーツの文化 | 1-2年生 | 前・後 | この授業ではスポーツの文化について歴史的観点からスポーツ科学の発展を学び、今日のスポーツ文化を理解できるようになることを目的とします。そして、多様化したスポーツは今後どのような文化に発展していくのか考えることを目的とします。 | 学生さんはこの授業からスポーツの発展と進化について理解していただくことを期待します。スポーツを文化的側面から歴史的観点ととらえ、社会の発展とともに変化していくスポーツの在り方について考えていきます。授業の中で扱われるスポーツのルーツがどうようにして今日のスポーツへ進化したか考えましょう。最終的には自分の周りにおけるスポーツをいろんな角度から捉えることができるようになることを目標とします。 | | ○ | ◎ |
| 総合 共通 科目 | スポーツの文化 | 1-2年生 | 前・後 | 現代のスポーツは、オリンピックやサッカーを代表とするワールドカップのみならず市民マラソンや小中学校のスポーツ大会などにおいても政治・経済・教育などを含む社会生活の様々な側面と関連する大きな文化現象となっている。また、メディアや消費活動との結びつきを通して、その影響力は多面化し増大している。本講義においては、スポーツがどのような意味において「文化」なのか、どのような歴史的・社会的条件のもとで発展してきたのかを理解し、スポーツの影響力がどのような形で社会に及んでいるのかを学習する。 | 1. スポーツの発展における歴史的背景を理解し、スポーツ文化について説明できる。2. スポーツの発展に関連する様々な社会環境について具体的な例を挙げて説明することができる。3. 現代のスポーツが社会に及ぼす影響について理解し、スポーツの文化的価値を説明することができる。 | ○ | ○ | ◎ |
| 総合 共通 科目 | ことばと異文化 | 1-2年生 | 前 | 交通網の発達で海外の国々が身近になった現在、21世紀を生きる皆さんにとって外国の文化を知ることは大切なことだと思います。この講義では、英語圏の国の中でも、特に、イギリスに焦点をあて、イギリス文化を多方向から学習して行きます。講義では、イギリス文化関係の専門書を用いて、イギリスの位置や気候からイギリスの4つの地域、繁栄の歴史、階級制度などまで学習します。時間が許せば、テーマを決めて、学生自身が発表する機会も設けたいと考えています。 | ・英語圏の文化を学ぶことによって、国際社会で生きて行くことが可能な教養を身につけることができる。・国際情勢に敏感な意識を持つことができるようになる。 | ◎ | | |

| | | | | | | | | |
|----------------|-----------------------|-------|-----|--|---|---|---|---|
| 総合 共通 科目 | ことばと異文化 | 1-2年生 | 前 | この授業ではアメリカの文化や歴史に関して学びます。アメリカの総人口は約3億3329万人です。アメリカは日本と違い、多民族国家で、「人種のサラダボール」とも言われています。アメリカについて学ぶということは、多様な異文化について学びを深めるということにつながります。非白人の合計が、2050年までには白人の人口を上回ると言われています。最近の移民は白人が少なく、ヒスパニック系やアジア系が多いとされていて、多様な言語や習慣がアメリカに入ってきています。アメリカの文化や歴史をパワーポイント、ドキュメンタリー、文学作品、映画等で学び、アメリカの諸々の問題に対しての批判的思考を培います。 | ①多角的にアメリカの文化、歴史、社会問題に関して理解することで、固定観念にとらわれない批判的思考を身につけることができる。②アメリカの文化・歴史に関して簡潔に説明できる。③異文化の社会問題に関して、基本的な自分の意見を他者に伝えることができる。④アメリカの文化や歴史的背景が分かるドキュメンタリーや映画、文学作品などを通して基本的なアメリカの文化等の知識が身につく。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | ことばと異文化 | 1-2年生 | 前・後 | アメリカは超大国として今もなお軍事や経済など、様々な面で世界に多大な影響を及ぼしている。日本とアメリカに関しても時に協力し合い、時に批判し合っておりその例外ではない。しかし、そのイメージとは裏腹に、アメリカは決して建国の当初から強大な国ではなかった。第1～9回目では、時系列順にアメリカ成立以降の道程を当時の文化に触れながら説明する。第10～14回目では、それぞれテーマを絞り、現代のアメリカにおける様々な問題を扱う。 | ①歴史を学ぶことで、アメリカという国を具体的に、客観的に知ることができる。②文学作品や映画などを通してアメリカの文化に触れ、理解することができる。③アメリカにおける諸問題を学び、多文化共生に必要な視点を持つことができる。 | ◎ | ○ | |
| 総合 共通 科目 | ことばと異文化 | 1-2年生 | 後 | 中国の古典小説『三国志演義』は名言の宝庫と言ってもよい。「三顧の礼」をはじめ、世に知られた名句も多い。この講義では、『三国志演義』にまつわる名句を学習しながら、小説における虚実の組み合わせや英雄豪傑の人物像を理解する。具体的に、「桃園の誓い」や「三顧の礼」「赤壁の戦い」などの名場面を中心に、DVD映像を鑑賞しながら、パワーポイントと配布資料を通して勉強を進めていく。各講義の終了時には、ミニッツペーパーに質問や感想などを書いて提出することが求められる。 | 中国のことばと文化に興味を持ち、三国志物語の面白さを知る。また、中国の社会や文化、及び人々の考え方をより深く理解できる。さらに、学習を通して得られる世界についての情報を深く理解し、現代の日本社会について広い視野から考えられるようになる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | ことばと異文化 | 1-2年生 | 後 | 「異文化」がもたらす「外国」や「外国人」との連関で認識されることには一定の批判を向けるとしても、「グローバル化」「ボーダレス化」が一般化した時代を生きる今日の私たちは、日常的に「異文化」の存在を強烈に意識させられています。そうした状況下では多様性の共生が求められる一方で、現実には自らの価値観から外れる他者を排斥する傾向も顕在化しています。本講義では、主にヨーロッパを対象として、歴史、政治、文化的背景などの多様な観点と関連づけながら、「異文化」というテーマに多角的にアプローチします。 | 1. 「異文化」に対する既存のイメージと現実のギャップを客観化することができる。2. 「文化」を形成する諸要素を認識し分析的に理解することができる。3. 「異文化」間の相互理解のための有効な切り口を見だし、他者への寛容性につなげることができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 情報文化論 | 1-2年生 | 後 | ICT(情報通信技術)というキーワードが、さまざまな場面で用いられる現代であるが、情報は、情報通信技術が出現する以前から存在している。情報は知識を表現するのに使われ、コミュニケーション手段としての情報が存在していた。また、情報の特徴としては、情報を加工し、再利用することができる。情報について総合的に着目することで、情報とは何か、また、情報技術が進むことで情報に対する対応の仕方の変化について考え、情報の役割について考察し、情報の収集方法、発信方法、情報の統計的活用法についても説明する。 | ・情報に関する基本的な知識を身につけることができる。・コンピュータでの情報の扱い方が理解できる。・情報システムの仕組みや種類を説明できる。・人工知能・データサイエンスが社会でどのように活用され新たな価値を生んでいるかを説明できる。・人工知能の得意なところ、苦手なところを理解し、人間中心の適切な判断ができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 歴史と国際情勢 | 1-2年生 | 前・後 | 政治と国際問題を理解するために、国家とは何か、また、それはどのような政治的営みを行うか、国家以外にはどのような国際関係の主体があるかを明らかにする。また、国際政治に対する主要な理論(リアリズム、リベラリズム等)に触れ、それらの理論の出現に大きな影響を与えた第一次世界大戦等の歴史について学習する。現代の国際的な課題についても学習する。その結果、政治と国際問題に対する基礎的な知識と能動的な思考能力を身につけることを目指す。 | 1. 国家をはじめとした国際政治の行為主体(アクター)についての基礎知識を身につけることができる。2. 国際政治に対する基本的な見方・理論を把握することができる。3. 国際政治の歴史および現状についての理解を深めることができる。 | ◎ | ○ | |
| 総合 共通 科目 | 【経済】 現代国家と法(日本国憲法) | 1-2年生 | 前・後 | 日本国憲法は私たち個人にとって、普段、日常ではあまり意識されない法律です。ところが、憲法の背後にあるさまざまな原理(民主権や基本的人権の尊重、平和主義など)は、私たちが生きている現代国家に多くの問題を投げかけています。この講義では、できるかぎり実際の事案を検討しながら、憲法の「しくみ」と「考え方」について解説します。実際に憲法が国家の中で用いられている現状を見ながら、政治権力や死刑制度、あるいは福祉のあり方など社会の具体的な問題に触れながら日本国憲法を学んでいきます。なお、受講者には毎回の事例問題に対する感想(ミニッツペーパー)を書いてもらう予定です。 | ①憲法の基本的な知識を修得し、自分の言葉で説明できるようになる。②実際に憲法が社会や国家においてどのように作用しているのかを理解する。③憲法の中にある様々な意見や解釈の対立を理解しながら、自分自身の立場を主張できるようになる。 | ◎ | ○ | |

| | | | | | | | | |
|----------------|---------|-------|-----|---|--|---|---|---|
| 総合 共通 科目 | 暮らしと経済 | 1-2年生 | 前 | 経済は、新聞やニュースで取り扱われる難しいものもありますが、みなさんの日々の生活の中においても経済活動は行われています。そこで、本講義では、経済学の基本的な考え方を学んでいきます。消費者と生産者のそれぞれの視点から経済の仕組みを学び、経済の基礎知識を身につけましょう。 | 1. 基本的な経済用語について理解できる 2. 消費者の行動と生産者の行動について理解できる 3. 市場のメカニズムについて理解できる 4. 景気と金融政策について理解できる | ◎ | ○ | |
| 総合 共通 科目 | 暮らしと経済 | 1-2年生 | 前・後 | 2つのテーマを扱う。①平穏な暮らしを送るためには、経済の安定は欠かせない。中でも日常生活に大きな影響を与えるのは、雇用と所得だから、国は「経済政策」を展開することで、より良い状態に近づけようとしている。そこで、こうした財政・金融政策が、どのような脈絡をたどって、最終的に雇用の創出や収入の増加に結びつくのか、について考察する。②グローバル化と、特に急速な人口減少が、経済と社会にどんな影響をもたらすかを、雇用・税・社会 保障の3つの領域を素材に考察する。 | ① 財政政策と金融政策の意義・効果・特徴を理解する。② 財・貨幣・労働の3つの市場の内容・相互関係を説明できるようになる。③ 人口減少の原因と影響を理解する。④ 雇用・年金・税等、将来社会人として生活していく上で必要な基本常識を身に付ける。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 人権・同和教育 | 1-2年生 | 前・後 | 現在、人権を尊重し、差別を許されないとする風潮は高まっている一方で、インターネット上などでは差別はむしろ深刻化しつつあります。本講義では、基本的人権についての理解を深めながら、現代日本社会のなかのさまざまな人権問題と差別の現状を解説しながら、皆さん自身の問題として捉え直すことを要求します。法的規制だけでは解決し得ない人権問題の難しさを理解し、社会の表面からは見えにくい暴力や差別に晒されている人々の痛みや苦しみにいかに向き合うかを皆さんと一緒に考えていく講義です。そうすることで、多様な価値観を備えた人権意識を鍛え、自由で開かれた論理的思考をもって問題を考える力を身につけることをめざします。 | 1)人権に関する知識を深めることができる。 2)人権感覚を身につけることができる。 3)社会における事象を人権という視点から考えることができる。 4)自己の考えを文章で表現することができる。 5)批判的・論理的思考力を身につけることができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 人間と哲学 | 1-2年生 | 前 | たとえば、「コンピュータに心はあるのか」と問われたら、あなたはどうか答えるだろうか？ 今や人工物が「考える(知能を持つ)時代。かつてホーキング博士は「人工知能が完全に発展すれば、人類の終わりをもたらすかもしれない」と語った。「考える」ことが人間に固有の能力だという私たちの当たり前は問い直さざるを得ない社会になっている。哲学は、普段当たり前だと思っていることを問いなおす学問。この授業では、現代社会のさまざまな問題について、哲学者たちの考えを学びながら、一緒に問い直し考えていく。そして、自分と世界との当たり前の関係をあらためて問い直す力や、自分自身で深く考える力を身につける。 | ① 各哲学者が使っている言葉を理解し、各哲学者がその言葉を使って説明した人間と社会との関係を理解し、その理解を自分の言葉で他人に正確に伝えることができる。② 習得した知識を使って、現代社会の諸問題について自分なりに問い直し考えることができ、諸問題に対する自分なりの見方を自分の言葉で説得的に説明することができる。 | | | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 人間と哲学 | 1-2年生 | 前 | 哲学をするために論理は必須のツールとなります。さらに言えば、論理はすべての学問の基礎となるものです。この講義では初心者向けに、哲学的に考え、議論するための基礎である論理学について学習を進めます。各項目ごとにまず一通り説明した後で、時間をとって教科書の練習問題を解いてもらいます。それから、練習問題の解説をしながら、答え合わせをしていきます。3～4回分の内容が終わるごとに、その次の講義で小テストを行うので、毎回復習しておいてください。 | ①論理学の初歩を身につけることができる。②哲学や倫理学における基本的な思考法や主体的に思考する力を身につけることができる。③自分の考えを、他の人が理解できるように筋道立てて説明する力を身につけることができる。 | ○ | | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 人間と哲学 | 1-2年生 | 後 | 先が不安だといわれる現代社会において、自分らしく生きていくためにはどうすればよいのだろうか。現実と理想のはざま、私が私らしくあるためにはどうすればよいのだろうか。この授業では、「この私」への問いを投げかける哲学を学びながら、自分で自分を見つめ、現代社会で生きる「私」のあり方を深く考える力を身につける。 | ① 各哲学者が使っている言葉を理解し、各哲学者がその言葉を使って説明した「この私」という存在について理解し、その理解を自分の言葉で他人に正確に伝えることができる。② 習得した知識を使って、現代社会を生きる「この私」の課題を検討し、社会の中で「この私」が生きることに自分なりに深く考えることができ、その考えを自分の言葉で説明することができる。 | | | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 人間と哲学 | 1-2年生 | 後 | 講義は各回の授業内容に沿って、レジュメや資料を使いながら進めていく。まず近代ヨーロッパを代表する哲学者の一人であるデカルトの哲学を取りあげ、近代自然科学の中心的な考えの一つとなった機械論の思想を提示する。それから、具体的な事例として自然・環境や臓器移植のあり方を手掛かりとして、機械論とそれに基づく自然科学から生じている現代の問題について哲学的・倫理的考察を行っていく。(遠隔授業になった場合など、状況に応じて一部変更あり。) | ①デカルトの哲学におけるテーマや問題についての知識を身に付けることができる。②哲学や倫理学における基本的な思考法や主体的に思考する力を身につけることができる。③現代の環境問題や医療の問題について、自分なりの意見を持つとともに、それを他人にも分かりやすく説明できる力を身に付けることができる。 | ○ | | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 生命と地球 | 1-2年生 | 前・後 | この講義であなたは壮大な地球の歴史を学ぶことができる。なぜ、ほ乳類は母親のお腹から産まれるようになったのか？なぜ人類は2足歩行を始めたのか？北米大陸の先住民と日本人の顔・姿が似ているのはなぜか？最新の研究によって明らかになった46億年にわたる地球の歴史とそれに伴う生物の進化を学ぶ。70億人を超える人類は、たった35人の母親から始まったことはあまり知られていない。授業では、美しいコンピュータグラフィックスを駆使した学術的番組(NHK地球大進化)を視聴しながら学ぶ。 | ①地球環境の激変によって生物の進化が促されたことが説明できる。②地球の自然環境の成り立ちと、現在の自然環境の問題点を理解できる。③進化における必要条件が理解できる。 | ○ | | ◎ |

| | | | | | | | | |
|----------------|----------|-------|-----|---|--|---|---|---|
| 総合 共通 科目 | 生命と地球 | 1-2年生 | 前・後 | 地球は46億年前の誕生以降、様々な変化を繰り返しながら現在の姿となった。生命の誕生以降、地球上で起こった大規模な変動は、その劇的な変化にともない順応する生物種の繁栄と、適応できずに絶滅する種をもたらした。人類は現在の地球環境に最も順応している生命体のひとつであるが、今後の地球環境の変化の中では、地球の長い歴史に刻まれてきた多様な絶滅生物種と比較して例外とは言えない。本講義では、惑星地球が誕生して以降46億年間の地球の表層・内部変動や環境変化を学ぶとともに、現在の地球の構造や運動を理解し、大規模自然災害への対応や近未来の地球の変化予測についても学習する。 | ・太陽系惑星の中で地球の特殊性について基本的な知識を習得し、地球環境や地球の構造、また46億年におよぶ地球の歴史と生命進化について説明できるようになる。・地震や火山噴火などにともなう自然災害等に関する基礎知識の習得し、防災意識が向上するとともに社会人として必要な地球科学的素養が身につく。・エネルギー資源や鉱物資源、ジオパークなど市民生活に密接な地球科学的素養を学ぶ。 | ○ | ◎ | |
| 総合 共通 科目 | 心の科学 | 1-2年生 | 前・後 | 心理学は人間を対象に振る舞いについて一定の法則を見出すものです。目には見えませんが心を客観的に研究する学問です。本講義では主に「知覚」「記憶」「対人関係」「動機づけ」「思考」「青年期」「発達」「臨床」について授業を展開します。人間をより深く理解し自分の生活を見直し、大学生活を有意義に過ごすことを目指して授業をすすめていきます。授業中で初めて出会った用語については、自分でも辞典などで調べて確認しておくなど積極的な態度を求めます。・教員としての経験を活かし、分かりやすく説明します。・カウンセラーとしての経験を活かし授業を展開します。 | ・人の行動について基本的な知識を習得し、自分の生活に活かすことができるようにする。・心理学の各分野の概要が理解でき、自分の言葉で説明できるようにする。 | ○ | ○ | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 心の科学 | 1-2年生 | 後 | 近年、心の健康問題は増加しており、社会的な問題として扱われることがある。本講義では、人がどのように世界を捉えようかといった認知的枠組みから、思考、感情、心の発達、対人関係、ストレスの問題、に至るまでの心理学に関する基礎的な知識についての解説を行う。講義内容によっては、個人ワーク・グループワークを適宜活用し、心理学の体験的な学習も取り入れる。心の健康や不適応に関しては、臨床経験に基づいた具体的な説明を行っていく。 | ・心理学の基礎的な知識を習得し、人の心の働きや動きについて理解を深めることができる。・人の心について理解を深めたことより、自分や他人を理解するといった自己理解・他者理解が出来る。・自己理解に基づき、自分自身の心の健康を保つことができる。 | ○ | ○ | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 共生社会を生きる | 1-2年生 | 前・後 | 地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて繋がることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会を目指すものである。本講義では、協同教育とSDGsを根幹においた授業デザインで、共生社会の構成員として防災・減災、社会のマイノリティや地域が抱える社会課題をテーマに講義を行い、身近な課題に気づく力、その課題を「自分ごと」として捉え、柔軟な思考力をもって、仲間と一丸となって探求し、解決しようとする力を養う。(※仲間と共に探求する姿勢のない学生は受講不可) | ・「共生」について理解し、共生社会の構成員として社会に貢献することができる。・他者とコミュニケーションをとり、協調することができる。・多種多様な考えを受け入れる姿勢を育て、他人ごとを自分ごととして捉えることができる。・柔軟な判断力と決断力をもって、自助・共助・公助のリーダーシップやフォローシップをとることができる。 | ○ | ○ | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 日本語表現法Ⅰ | 1年生 | 前・後 | 大学生になると、自分の考えを文章で表現する機会が増えます。試験で自分の考えを述べる問題に解答したり、レポートを作成したりします。そのため日本語表現の基礎となる語彙や文法、表記に関する知識を身につける必要があります。日本語表現法Ⅰでは、これらの知識・技能の習得を目指します。毎回の授業では、授業内容をふまえたワークシート等に取り組み、知識の定着を図ります。 | ・わかりやすい文章表現に必要な語彙・文法の知識を身につけることができる。・授業で得た知識を活かして、説得力のあるレポートを書くことができる。 | ◎ | ○ | |
| 総合 共通 科目 | 日本語表現法Ⅱ | 2年生 | 前・後 | 日本語表現法Ⅱでは、日本語表現法Ⅰで身につけた基本的な知識を発展させて、書くこと・話すことに関するより実践的な日本語運用能力の習得を目指します。資料の検索の仕方、レジュメの作り方、プレゼンテーションの行い方など、大学だけでなく社会に出てからも必要とされる技術について学びます。さらに、小論文やエントリーシートの書き方といった就職活動で求められるスキルを身につけ、敬語でコミュニケーションする力など日本語運用に関する社会人基礎力を養います。毎回の授業では、ワークシート等に取り組み、知識の定着を図ります。 | ・社会人として適切なコミュニケーションができる。・レジュメを作成してプレゼンテーションを行うことができる。・小論文やエントリーシートなど就職活動に必要な文書を書くことができる。 | ◎ | ○ | |
| 総合 共通 科目 | 伝わる文章力 | 2年生 | 前・後 | 社会人に必要な文章の「読解力」と「作成力」を身につけることを目的とした授業を展開する。具体的には、文章や資料を正確に読み解く力、自分の意見を文章で分かりやすく説明する力、手紙文やビジネス文書を作成する力を養成するため演習等を行う。また、上記の「読解力」および「作成力」の基礎となる漢字や語彙、敬語に関する知識の定着・向上のためのトレーニングや、ロジカルシンキングや文章要約に関する演習も行う。なお授業で扱う演習問題の難易度は、文章検定3級程度とする。 | ・社会人に必要な漢字や語彙を身につけることができる。・文章や資料から情報を正確に読み取るができる。・説得力のある分かりやすい文章を書くことができる。・手紙文の構成と敬語のマナーを理解し、手紙やビジネス文書を作成することができる。 | ◎ | ○ | |

| | | | | | | | | |
|----------------|----------------|-------|-----|--|---|---|---|---|
| 総合 共通 科目 | 英語 I | 1年生 | 前 | 将来のキャリア形成に向けて、大学では就職試験やTOEICなどに対応し得る、より質の高い英語力が求められますが、英語力向上のためには基礎固めはいつの時点でも必要不可欠です。本科目では、英語において最も重要な動詞を中心として主要文法項目を復習し、それらの文法項目から成るシンプルな英文を読む、聞く、話す、書くという4技能のバランスのとれた向上を目指します。 | ①簡単な説明文を理解することができる。②日常生活の簡単な話題や平易な説明・指示を聞いて理解することができる。③日常生活に関する簡単な応答や意思表示をすることができる。④興味・関心のあることについて簡単な英文を書くことができる。⑤全体として、CEFR-J A1.3程度の到達度を目指す。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 英語 I (再) | 1-2年生 | 後 | 本科目では、英語の基礎力を完全に身につけることを目標とします。基礎英文法を徹底的に学習し、様々な練習問題を解いていきます。語彙力の強化と理解度アップのために、毎回予習として、単語の意味調べや練習問題の解答を行って行くこと。また、授業の始めには、前回の学習内容をおさらいする小テストを実施します。 | 1. テキストに出てくる単語の意味を正しく理解することができる。2. テキストに出てくる英文を完全に理解することができる。3. テキストに出てくる文法事項を正しく理解し、運用できる。4. 授業で学習した内容について、60%の正答率をもって答えることができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 英語 II (再) | 2年生 | 前 | 本科目では、英語の基礎力を完全に身につけることを目標とします。基礎英文法を徹底的に学習し、様々な練習問題を解いていきます。語彙力の強化と理解度アップのために、毎回予習として、単語の意味調べや練習問題の解答を行って行くこと。また、授業の始めには、前回の学習内容をおさらいする小テストを実施します。 | 1. テキストに出てくる単語の意味を正しく理解することができる。2. テキストに出てくる英文を完全に理解することができる。3. テキストに出てくる文法事項を正しく理解し、運用できる。4. 授業で学習した内容について、60%の正答率をもって答えることができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 英語 II | 1年生 | 後 | 将来のキャリア形成に向けて、大学では就職試験やTOEICなどに対応し得る、より質の高い英語力が求められますが、英語力向上のためには基礎固めはいつの時点でも必要不可欠です。本科目では、英語において最も重要な動詞を中心として主要文法項目を復習し、それらの文法項目から成るシンプルな英文を読む、聞く、話す、書くという4技能のバランスのとれた向上を目指します。 | ①簡単な説明文を理解することができる。②日常生活の簡単な話題や平易な説明・指示を聞いて理解することができる。③日常生活に関する簡単な応答や意思表示をすることができる。④興味・関心のあることについて簡単な英文を書くことができる。⑤全体として、CEFR-J A1.3程度の到達度を目指す。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 英語コミュニケーション I | 2年生 | 前 | 英語 I および II で固めた基礎力を土台にして、日常的に使われる英文や英語表現を、語学学習における4技能を通してバランスよく学習しつつ、リスニングスキルとスピーキングスキルをさらに涵養することを目指します。アクティブ・ラーニングとして、発話練習、テキストで学んだ短会話の実践なども行います。英語圏諸国の基本的な文化理解も、授業時間中に適宜行います。 | ①日常的に使われる英文や英語表現をスムーズに発音することができる。 ②基本的な英語での質問に回答できる。③テキストで学習した内容・パターンに似た短い英語会話を展開することができる。④英語圏諸国の文化について、基本的な事項を理解することができる。⑤授業で学習した問題において、得点の60%程度の取得を目指す。 | ○ | ◎ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 英語コミュニケーション II | 2年生 | 後 | 英語 I および II で固めた基礎力を土台にして、日常的に使われる英文や英語表現を、語学学習における4技能を通してバランスよく学習しつつ、リスニングスキルとスピーキングスキルをさらに涵養することを目指します。アクティブ・ラーニングとして、発話練習、テキストで学んだ短会話の実践なども行います。英語圏諸国の基本的な文化理解も、授業時間中に適宜行います。 | ①日常的に使われる英文や英語表現をスムーズに発音することができる。 ②基本的な英語での質問に回答できる。③テキストで学習した内容・パターンに似た短い英語会話を展開することができる。④英語圏諸国の文化について、基本的な事項を理解することができる。⑤授業で学習した問題において、得点の60%程度の取得を目指す。 | ○ | ◎ | ○ |
| 総合 共通 科目 | TOEIC入門 | 1年生 | 前・後 | 本科目では、英語 I または英語 II と同時進行で、TOEICに挑戦するために必要な基礎英語力を養いながら、TOEIC受験対策を実践的に行います。特に、350点程度のスコアを獲得できる語彙力、文法知識、リスニング力、読解力を身につけることに重点を置きます。また、TOEIC Bridge Listening & Reading IP TestやTOEIC Listening & Reading IP Testを受験することを目指します。 | 1. 学内で実施されるTOEIC Bridge Listening & Reading IP TestやTOEIC Listening & Reading IP Testを受験し、TOEICの出題形式に慣れる。2. 授業で学習したリーディング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。3. 授業で学習したリスニング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。4. TOEIC Listening & Reading IP Testにおいて、350点程度のスコアを獲得することができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | ドイツ語 I | 1年生 | 前 | 新しい外国語にチャレンジする皆さんが、基本的なドイツ語の仕組みを理解し、簡単な日常会話ができるようになることを目指します。受講生の皆さんが、テキスト内の日常の会話シーンにひとつずつ触れながら文法体系を段階的に学習し、この新しい言語に自然に慣れ親しんでいくことができるように、簡単な会話パターンの練習や詳細な文法の説明をおりませた授業となります。ほとんどがローマ字読みで発音できる、新たに始めるのに最適なドイツ語を、一緒に学んでいきましょう。 | ドイツ語 I、II では、実際に使える基礎的言語能力(基本的なドイツ語の仕組みが理解でき、簡単な日常会話ができる)の獲得を目指します。ドイツ語 I の目標は以下の4点です。1.ドイツ語の正確な発音ができる。2.主語に従った動詞の現在人称変化ができる。3.名詞の文法上の性別を理解し、定冠詞及び不定冠詞を用いてその区別ができる。4.既習のドイツ語運用能力の範囲で他者とのコミュニケーションが図れ、その体験を通して世界情勢にも目を向ける意識を高め、他者を思いやり、他者と共に生きる力を獲得することができる。 | | ◎ | ○ |
| 総合 共通 科目 | ドイツ語 II | 1年生 | 後 | 大学生になってドイツ語にチャレンジした皆さんは、これまでの授業ですでにドイツ語の基本が身につけ始めているはずですが、これからの、テキスト内の日常の会話シーンにひとつずつ触れながら文法体系を段階的に学習し、この新しい言語に自然に慣れ親しんでいくことができるように、簡単な会話パターンの練習や詳細な文法の説明をおりませた授業となりますが、徐々に難しい事項も学びますので、さらに頑張ってください。 | ドイツ語 I、II では、実際に使える基礎的言語能力(基本的なドイツ語の仕組みが理解でき、簡単な日常会話ができる)の獲得を目指します。ドイツ語 II の目標は以下の4点です。1.名詞の格の概念を理解し、冠詞を用いて格変化させ、実際の文中で使用できる。2.特殊な現在人称変化を理解し、命令文とともに実際に使用できる。3.基本的な前置詞の意味と格支配を理解し、実際に使用できる。4.既習のドイツ語運用能力の範囲で他者とのコミュニケーションが図れ、世界情勢に目を向け、他者を思いやり他者と共生する力を獲得することができる。 | | ◎ | ○ |

| | | | | | | | | |
|----------------|----------------|-----|-----|---|--|---|---|---|
| 総合 共通 科目 | 中国語Ⅰ | 1年生 | 前 | この授業では、日常の表現を中心とした会話教材を使用し、発音と聞き取りの訓練を行うことによって、中国語発音の基礎と初歩的な文法を学習する。初めて習う外国語なので、あまり難しく考えず、教科書を暗誦できるくらいにじっくり練習する。 | 中国語の発音と文法の基礎的な知識を習得し、挨拶や簡単な日常会話ができる。また、中国語学習を通して、中国の文化をより深く理解できる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 中国語Ⅱ | 1年生 | 後 | この授業では、日常の表現を中心とした会話教材を使用し、発音と聞き取りの訓練を行うことによって、中国語発音の基礎と初歩的な文法を学習する。初めて習う外国語なので、あまり難しく考えず、教科書を暗誦できるくらいにじっくり練習する。 | 中国語の発音と文法の基礎的な知識を習得し、挨拶や簡単な日常会話ができる。また、中国語学習を通して、中国の文化をより深く理解できる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 韓国語Ⅰ | 1年生 | 前 | 初めて韓国語を学ぶ学習者が基礎から学べる入門講義である。まず、ハングル文字と発音を少しずつ覚えながら、同時に韓国との文化の違いを理解し、日常生活の挨拶や決まり文句、身近な単語に慣れ、親しみ、きれいな発音で簡単な自己表現と相手とのやり取りができることを目指す。初めての文字と発音なので十分な練習とゆっくりとしたスピードで習得させていく。 | 1. ハングル文字と発音に慣れ親しみ、単語が読めるようになる。2. 日常挨拶や簡単な決まり文句が自然に言えるようになる。3. 名前、趣味、出身地などの基本的な自己紹介が言えて、書けるようになる。4. 日常の単語や相手の自己表現を聞いて、意味が分かり、質問と応答のやり取りができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 韓国語Ⅱ | 1年生 | 後 | 韓国語Ⅰで学習した内容を踏まえて、日韓の文化の違いを理解しながら、身近な事柄を表す単語や表現を用いて簡単なやりとりができ、より拡張した自己表現の文章が書けて、話せて、相手の話も理解できるようになることを目指す。 | 1. 単語、文章を正確な発音で読めるようになる。2. 自分や相手に関する事柄について、やりとりができるようになる。3. 簡単な文章が書けるようになる。4. 日韓の文化の違い、共通点を理解し、興味を持つようになる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | イングリッシュワークショップ | 1年生 | 後 | 英語でのプレゼンテーション能力は、グローバル化する現代社会において必要なスキルの1つです。本科目では、英語でのコミュニケーションや面接、プレゼンテーション能力を磨くために、ネイティブスピーカーを中心とした集中講義の形式で、英語のみを使用して様々なトピックでのトークやディスカッションを行い、英語でアウトプットすることを積極的に促す授業を展開します。【担当：黒木、永松、サミファンニイ】 | CEFR-J A2.1 (やりとり・発表)程度の到達度を目指します。具体的には下記の通りです：1. 基本情報を伝え、簡単な意見交換ができる。2. 簡単な語句や文を使って、身近なトピックについて短い話をする事ができる。 | ○ | ○ | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 海外研修 | 全学年 | 前・後 | この科目は、国際交流・留学生支援室が募集する、短期海外研修プログラムに参加した学生に単位が与えられる科目です。英語や韓国語など、各協定校における語学研修プログラムを受講し、言語運用能力の向上を目指します。各協定校における語学研修プログラムでは、文法・聴解・読解・会話など、言語運用能力を向上させる4技能を、それぞれの協定校における手法で学習していきます。また、海外での語学学習だけでなく、その土地の文化を体験し、国際人としての教養を深めることを目指します。 | 1. 短期海外研修プログラムを通して、積極的に語学学習に取り組み姿勢を身につける。2. 短期海外研修プログラムを通して、その土地の文化を理解することができる。 | ○ | ○ | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 情報処理演習Ⅰ | 1年生 | 前 | インターネットやコンピュータを活用することは現代社会においては必要不可欠であり、それらを用いて情報収集、整理を行い、考えを主張していくことが社会人として身につけておく要素のひとつである。本科目はパソコンを実際に操作しながら初歩的なワードプロセッサや表計算・図形描画・電子メール・情報検索などを演習形式で繰り返し操作しながら体得していき、身近な情報機器を積極的に活用できるようにしていく。また、本学の情報処理施設の利用法を学ぶ最初の機会でもある。特殊な操作もあるがしっかりと習得していく。 | 1. コンピュータの基礎用語を理解し、基本的な利用方法を習得し説明できる。2. 簡単なレポート作成とそのプレゼンテーションができる。3. コンピュータを積極的に利用し、日常生活に活用できる。4. インターネットを活用し、容易に情報を収集できる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 情報処理演習Ⅱ | 1年生 | 後 | 前期に行った情報処理演習Ⅰから発展する形で、文書作成・表計算・プレゼンテーション資料作成の技量を高めていく。その流れの中で数学的基礎知識(主として統計学)や芸術的センスのイロハ(レイアウトや色彩感覚など)も踏まえた内容を学んでいく。キー入力速度についても技能向上を求めていく。コンピュータ用語としての英語も含まれて来るので、しっかりと理解し体得していく。情報処理演習Ⅰで行った内容は既に理解し実践できるという前提で物事が進んでいくので、過去の内容の「きちんとした振り返り」が必要となる。 | 1. コンピュータの基礎用語を理解し、基本的な利用方法を習得し説明できる。2. 簡単なレポート作成とそのプレゼンテーションができる。3. コンピュータを積極的に利用し、日常生活に活用できる。4. インターネットを活用し、容易に情報を収集でき、その価値や真偽の判断を実践できる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 情報処理演習Ⅲ | 2年生 | 前 | インターネットやコンピュータを利用することは、現代社会においては必要不可欠であり、それらを用いて情報収集を行い、自分自身をアピールすることは社会人として身につけておく必要があります。本授業ではパソコンを実際に操作しながら、情報処理演習Ⅰ、Ⅱを基礎にワード、エクセル、パワーポイント、情報検索、統計処理などを演習形式で体得し、さらに理解を深め、応用力を高めることを目標としています。 | 1. コンピュータの使用法を理解し、発展的な利用方法を習得し他者に説明できる。2. 複合的なレポート作成とそのプレゼンテーションができる。3. コンピュータを積極的に利用し、日常生活に活用できる。4. インターネットを活用し容易に情報を習得できる。 | ◎ | ○ | ○ |

| | | | | | | | | |
|----------------|----------------------------|-------|-----|--|--|---|---|---|
| 総合 共通 科目 | 情報処理演習Ⅳ | 2年生 | 後 | インターネットやコンピュータを利用することは、現代社会においては必要不可欠であり、それらを用いて情報収集を行い、自分自身をアピールすることは社会人として身につけておく必要があります。本授業ではパソコンを実際に操作しながら、情報処理演習Ⅰ、Ⅱを基礎にワード、エクセル、パワーポイント、情報検索、統計処理などを演習形式で体得し、さらに理解を深め、応用力を高めることを目標とします。 | 1. コンピュータの使用法を理解し、発展的利用法を習得し他者に説明できる。 2. 複合的なレポート作成とそのプレゼンテーションができる。 3. コンピュータを積極的に利用し、日常生活に活用できる。 4. インターネットを活用し容易に情報を習得できる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | スポーツA | 1年生 | 前 | 学生の身体諸機能の向上ならびに体力の増進をはかり、将来の社会生活の活動基盤となる体力および健康を維持・増進させるための実践法を体得し、豊かな人格を形成していく。前期のスポーツAでは、卓球、バスケットボール・テニス・サッカー・ソフトボールを選択種目とし、特に自主性に焦点を置き、生涯に渡って実践できるスポーツの技能・運営方法を学習する。 | (1)現在の自身の体力・健康度等を認識することができる。(2)選択したスポーツ種目の特性、ルールやマナーを理解し、選択したスポーツ種目に必要な技術を習得することができる。(3)スポーツを通して、基礎体力の保持・向上のための、身体を動かす習慣をつけることができる。(4)ゲームや仲間との協調を通じて、選択したスポーツ種目の楽しさを知ることができる。(5)健康的な生活習慣(特にスポーツ習慣)をデザインし、実行することができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | スポーツB | 1年生 | 後 | 学生の身体諸機能の向上ならびに体力の増進をはかり、将来の社会生活の活動基盤となる体力および健康を維持・増進させるための実践法を体得し、豊かな人格を形成していく。前期のスポーツAでは、卓球、バスケットボール・テニス・サッカー・ソフトボールを選択種目とし、特に自主性に焦点を置き、生涯に渡って実践できるスポーツの技能・運営方法を学習する。 | (1)現在の自身の体力・健康度等を認識することができる。(2)選択したスポーツ種目の特性、ルールやマナーを理解し、選択したスポーツ種目に必要な技術を習得することができる。(3)スポーツを通して、基礎体力の保持・向上のための、身体を動かす習慣をつけることができる。(4)ゲームや仲間との協調を通じて、選択したスポーツ種目の楽しさを知ることができる。(5)健康的な生活習慣(特にスポーツ習慣)をデザインし、実行することができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | 健康の科学 | 1-2年生 | 前 | 本授業は、自分自身の健康を科学的に捉え、自己管理のための教養を身につけることに着眼点を置く内容で構成されるものである。授業の流れは、講義(インプット)に始まり、その内容についてKJ法を用いてグループディスカッションを行いながらポスター資料を作り、最後に発表を行う(アウトプット)。ねらいは、積極的なアクティブラーニングを行うの中で、人の考えを聞き、他の学生に教えるつもりで健康を考えることによって、伝えるための実践力を身につけることである。 | 本授業の到達目標 1. 自律的なライフワーク形成に必要な科学的知識を身につける 2. 日常生活と健康について多角的に捉えることができるようになること 3. 他者とのコミュニケーション能力の向上 4. 問題を纏める力をつける 5. プレゼンテーション能力の向上 | ○ | ○ | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 健康の科学 | 1-2年生 | 前・後 | 日常生活であっても何か新しい動きを身に付けようとする、自分の身体が思い通りに動かなかった経験を持つ人は多いのではないかと、スポーツ運動や健康運動においてこのような自分の身体と向き合っている自分を振り返り、繰り返すことによって身体知は形成されていくことになる。これは、体の動きを習得していく過程で健康体力づくりにも貢献していくことになり、将来的に体を動かすことを楽しむ生涯スポーツの基盤になっていくと考えられる。本講義では、身体知を形成するために重要となる自分の体力を知ることの意義、生涯にわたる健康、体力の維持増進に役立つ身体構造や機能、日常生活で生かせる運動処方論や救命知識について学んでいく。 | 1. 健康に関連する体力の概念を理解し、自らの体力維持増進について考えることができる。 2. 身体構造・機能を理解し、トレーニングの原則にしたがって自らの体力に適した運動方法を考えることができる。 3. 健康の定義を理解し、生活習慣の重要性を説明することができる。 | ○ | ○ | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 健康の科学 | 1-2年生 | 後 | 「健康」を獲得・維持し豊かな生活を送るためには、適切な運動・栄養・休養を日常生活に取り入れることが必要です。また、ヒトの身体は、運動に対して適応します。運動に対する適応能は、個人の体力や年齢などによって異なります。この適応性を利用して、体の機能をできるだけ高度に発達させる行為をトレーニングといいます。本講義では、健康の土台となる身体構造や機能、運動に対する身体適応やトレーニングについて理解を深め、自身の健康管理のための知識を高めることをねらいとします。 | 本授業の到達目標 1. 運動・トレーニングと健康のかかわりについて理解すること 2. 身体能力を向上させるトレーニングについて理解すること 3. 現在の体力を知り、自分に必要なトレーニングについて理解すること | ○ | | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 【経済・経営】 職業とコミュニケーション | 1年生 | 後 | 本講義では、経済経営学科6領域、および地域創造学科の職業(アウトカム)と職業に係るコミュニケーション能力の向上について理解を深める。さらに、各自が将来の進路を意識し主体的に学習するための基礎的な知識や技能を習得することを目標とする。 | ①各領域の修学内容と職業(アウトカム)について理解できる ②各領域のコミュニケーションの重要性について理解できる ③主体的に学習する意識や姿勢を身につけることができる | ○ | ○ | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 【経済・経営】 職業とコミュニケーション(再) | 2-3年生 | 後 | 本講義では、経済学部で2年次から学ぶ6領域の職業(アウトカム)とコミュニケーションについて理解を深める。さらに、各自が将来の進路を意識し主体的に学習するための基礎的な知識や技能を習得することを目標とする。 | ①各領域の職業(アウトカム)について理解できる。 ②各領域のコミュニケーションの重要性について理解できる。 ③主体的に学習する意識や姿勢を身につけることができる。 | ○ | ○ | ◎ |
| 総合 共通 科目 | 【地域創造】 職業とコミュニケーション | 1年生 | 後 | 本講義では、経済・経営学科6領域、および地域創造学科の職業(アウトカム)と職業に係るコミュニケーション能力の向上について理解を深める。さらに、各自が将来の進路を意識し主体的に学習するための基礎的な知識や技能を習得することを目標とする。 | ①各領域の修学内容と職業(アウトカム)について理解できる ②各領域のコミュニケーションの重要性について理解できる ③主体的に学習する意識や姿勢を身につけることができる | ○ | ○ | ◎ |

| | | | | | | | | |
|----------------|--------------------|-------|----|--|--|---|---|---|
| 総合 共通 科目 | キャリアデザインⅠ(再) | 3年生 | 通年 | この授業では、社会を理解し、職業人としての意識付けを明確にして将来の自分の姿を思い描き、社会人としての満足について考えていきます。また、発表の機会も設けて、プレゼンテーション能力の向上を目指します。自己理解および仕事理解を深めて、就職活動に向けた準備を進めます。 | 1)自己分析を通じて自己理解をすることができる。2)仕事理解を通じて職種や業界を理解することができる。3)働く意味の認識ができ、将来計画を立てることができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 総合 共通 科目 | キャリアデザインⅡ | 3年生 | 前 | 本講義は、自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。社会で求められる人物像や職業についての理解を深めながら、自己に適した職業を明確にするとともに、将来に向けての準備(就職活動)を行っていきます。特に前期では、過去の経験を振り返りながら自分自身の強みや自分はどのような価値観を大事にしているかなど、自己分析を通じて考えていきます。 | ①現在の就職環境について理解できる。②就職総合適性検査の結果を元に自分の性格的傾向を掴むことができる。③今までの学生時代をふりかえり自己分析ができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | キャリアデザインⅡ(再) | 4年生 | 前 | 本講義では、自身の強みを存分に押し出しながら就職活動に臨むための準備を進めていく。履歴書で求められる項目に沿って、自分の特徴や興味分野を見極め、強みや学生時代に力を注いだこと、志望動機を整理する。また、実際の就職試験で求められる面接やグループディスカッションの臨み方についても説明する。 | ①:自分の特徴や興味分野を見極めることができる。②:履歴書で求められる項目について整理できる。③:就職活動に臨むにあたっての自分の不足部分をあぶり出せる。④:面接やグループディスカッションに冷静に臨むことができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | キャリアデザインⅡ(留) | 3年生 | 前 | 本講義は、自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。社会で求められる人物像や職業についての理解を深めながら、自己に適した職業を明確にするとともに、将来に向けての準備(就職活動)を行っていきます。特に前期では、過去の経験を振り返りながら自分自身の強みや自分はどのような価値観を大事にしているかなど、自己分析を通じて考えていきます。 | ①現在の就職環境について理解できる。②就職総合適性検査の結果を元に自分の性格的傾向を掴むことができる。③今までの学生時代をふりかえり自己分析ができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | キャリアデザインⅢ | 3年生 | 後 | 本講義は、自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。社会で求められる人物像や職業についての理解を深めながら、自己に適した職業を明確にするとともに、将来に向けての準備(就職活動)を行っていきます。そのため、講義だけではなく、履歴書の作成や学内業界研究セミナー、面接対策等を取り入れた授業を実践的に展開していきます。 | ①現在の就職環境について理解している。②今までの学生時代をふりかえり、自己PRや大学時代に頑張ったことを言語化することができる。③就職活動におけるSPI一般常識の重要性を理解し、筆記試験対策を行うことができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | キャリアデザインⅢ(再) | 4年生 | 後 | 本講義では、自分のキャリアを築いていくうえで、有用なフレームワークを学ぶ。自分自身の目標を長期目標と短期目標に分けて、目標達成に向けて、何をすればよいのかを見つめていく。また、コミュニケーションの仕組み、リスクとリターンについて学び、社会人になるにあたって必要なコミュニケーションの作り方について説明する。 | ①:自分のキャリアについて俯瞰的に見つけ、視野を広げることができる。②:キャリアアップについて目標を立て、実践に結びつけることができる。③:セレンディピティやウイークタイズなど、社会生活を送るにあたって有用な概念を活用できる。④:効果的なコミュニケーションを組み立てることができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | キャリアデザインⅢ(留) | 3年生 | 後 | 本講義は、自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。社会で求められる人物像や職業についての理解を深めながら、自己に適した職業を明確にするとともに、将来に向けての準備(就職活動や大学院進学)を行っていきます。そのため、講義だけではなく、履歴書や論文の作成、面接対策等を取り入れた授業を実践的に展開していきます。 | ①現在の就職や進学環境について理解している。②今までの学生時代をふりかえり、自己PRや大学時代に頑張ったことを言語化することができる。③就職活動や大学院進学における学力の重要性を理解し、筆記試験や面接対策を行うことができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | インターンシップ(企業研修) | 2年生 | 集中 | 本授業は、夏期(冬期・春期)期間中の5日～10日程度、希望する企業・事業所等で就業体験(インターンシップ)を行います。期間は実習先によって異なります。単にインターンシップに参加することが目的でなく、就業体験を通じて働くことを軸とした価値形成を育み、大学在籍中に自らの将来の人生設計(キャリア開発)を描くための気づきを得ます。また、社会の様々な事業所等で就業体験を積むことによって新たな学習意欲を喚起し、自主的に考え行動できる力を養っていきます。 | ①就業体験を通じて実社会の経済活動がどのように動いているのか実態を把握することができる。②社会人として基本的なマナー、態度、スキル、知識を身につけることができる。③卒業後のキャリアについて「仕事」働くことを具体的に検討することができる。 | ○ | ◎ | ◎ |
| 総合 共通 科目 | スキルアップ講座A(ITパスポート) | 3年生 | 後 | 今の情報化社会では事務系・技術系、文系・理系などを問わずITの基礎知識を持ち合わせていなければならない。本科目では、独立行政法人・情報処理推進機構が実施する国家試験ITパスポート試験の出題テーマを題材とし、これから必須となるITに対する素養と知識・スキルの習得を目指す。 | ①情報社会の現状を理解し、この情報社会において自分に必要となるスキルレベルを自覚することができる。②どのようにすれば必要となるITに関する知識やスキルを身につけることができるのかを知ることができる。③ITパスポート試験の過去問題に対して60%以上正答することができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | スキルアップ講座B(TOEIC I) | 2-3年生 | 前 | TOEICのスコアは就職活動時に利するのみならず、社会人としての様々な場面でのキャリア形成にも非常に有効です。本科目では、TOEICの初級・中級者向けに、試験の特色を把握し、各パートの問題形式に慣れるため、重要な文法事項・語彙・語句で構成された比較的易しい問題を使って、実践的な受験対策を行います。また、学内で実施されるTOEIC Bridge Listening & Reading IP TestやTOEIC Listening & Reading IP Testの受験を目指します。 | 1.学内で実施されるTOEIC Bridge Listening & Reading IP TestやTOEIC Listening & Reading IP Testを受験し、TOEICの出題形式に慣れる。2.授業で学習したリーディングパートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。3.授業で学習したリスニングパートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。4. TOEIC Listening & Reading IP Testでは400点程度のスコアが獲得できる。 | ◎ | ○ | ○ |

| | | | | | | | | |
|-----------------|--------------------------|-------|---|--|---|---|---|---|
| 総合 共通 科目 | スキルアップ講座C (TOEIC II) | 2-3年生 | 後 | 本科目では、スキルアップ講座Bに続き、TOEICの初級・中級者が各パートに必要な英語力をさらに高めるため、頻出する語彙・語句や文法知識を身につけるとともに、問題に対してより早く正確に解答するコツを身につける実践的な受験対策を行います。また、学内で実施されるTOEIC Bridge Listening & Reading IP TestやTOEIC Listening & Reading IP Testの受験を目指します。 | 1. 学内で実施されるTOEIC Bridge Listening & Reading IP TestやTOEIC Listening & Reading IP Testを受験し、TOEICの出題形式に慣れる。2. 授業で学習したリーディング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。3. 授業で学習したリスニング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。4. TOEIC Listening & Reading IP Testでは450点程度のスコアが獲得できる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | スキルアップ講座G (公務員 養成 I) | 3-4年生 | 前 | 様々な公務員の試験問題を演習する事により、必要な基礎知識、手法を講義する。なお、習得効果を大きくするために、事前の予習は不可欠である。当講義では、数的処理分野の中心である数的推理、判断推理に重点を置き、講義を進める。 | 数的処理の典型問題を時間内に解決できるようになる。公務員の職種について理解し、各自の適正と照合、明確な受験目標を持つことができる。 | ◎ | | |
| 総合 共通 科目 | スキルアップ講座H (公務員 養成 II) | 3-4年生 | 後 | 公務員になるために必要な数的処理能力をより高めるとともに、論理的、かつ多角的な思考能力を養成する。そのために、事前に、次回テーマに対する予習が必要になる。 | さまざまな公務員試験に対応できる、高い数的処理能力を習得することができる。 | ◎ | | |
| 総合 共通 科目 | スキルアップ講座R (TOEIC III) | 3-4年生 | 前 | スキルアップ講座B・C (TOEIC I・II) からさらに発展的なTOEIC受験対策の英語学習を実践的にを行います。特に500点程度のスコアを取得するのに必要なリスニング力とリーディング力を身につけることに重点を置き、様々なTOEIC形式の問題に取り組みます。また、実際にTOEIC Listening & Reading IP Testの受験を目指します。 | 1. 学内で実施されるTOEIC Listening & Reading IP Testを受験し、TOEIC高得点を目指す。2. リーディング・パートに出てくる内容に、75%の正答率をもって答えることができる。3. リスニング・パートに出てくる内容に、75%の正答率をもって答えることができる。4. TOEIC Listening & Reading IP Testにおいて、500点程度のスコアを獲得することができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合 共通 科目 | スキルアップ講座S (TOEIC IV) | 3-4年生 | 後 | スキルアップ講座R (TOEIC III)と同様に、発展的なTOEIC受験対策の英語学習を実践的にを行います。特に550点程度のスコアを取得するのに必要なリスニング力とリーディング力を身につけることに重点を置き、様々なTOEIC形式の問題に取り組みます。また、実際にTOEIC Listening & Reading IP Testの受験を目指します。 | 1. 学内で実施されるTOEIC Listening & Reading IP Testを受験し、TOEIC高得点を目指す。2. リーディング・パートに出てくる内容に、75%の正答率をもって答えることができる。3. リスニング・パートに出てくる内容に、75%の正答率をもって答えることができる。4. TOEIC Listening & Reading IP Testにおいて、550点程度のスコアを獲得することができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 留学生 特別 科目 | 初級日本語 I A (初級1)〈留〉 | 1年生 | 前 | 発音から学ぶ初級レベルの授業で、言語知識を勉強しながら会話力を少しずつ身につける。日常生活に必要な文法知識と基礎会話を習得する。メインの教科書のほかに、生の会話や文化的なものを教材として活用する。 | 1. 自己紹介ができる。2. 日常的な挨拶ができる。3. 簡単な文章を読むことができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生 特別 科目 | 初級日本語 I A (初級1)〈留〉 | 1年生 | 後 | 発音から学ぶ初級レベルの授業で、言語知識を勉強しながら会話力を少しずつ身につける。日常生活に必要な文法知識と基礎会話を習得する。メインの教科書のほかに、生の会話や文化的なものを教材として活用する。 | 1. 自己紹介ができる。2. 日常的な挨拶ができる。3. 簡単な文章を読むことができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生 特別 科目 | 初級日本語 I B (初級1)〈留〉 | 1年生 | 前 | 発音から学ぶ初級レベルの授業で、言語知識を勉強しながら会話力を少しずつ身につける。日常生活に必要な文法知識と基礎会話を習得する。メインの教科書のほかに、生の会話や文化的なものを教材として活用する。 | 1. 自己紹介ができる。2. 日常的な挨拶ができる。3. 簡単な文章を読むことができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生 特別 科目 | 初級日本語 I B (初級1)〈留〉 | 1年生 | 後 | 発音から学ぶ初級レベルの授業で、言語知識を勉強しながら会話力を少しずつ身につける。日常生活に必要な文法知識と基礎会話を習得する。メインの教科書のほかに、生の会話や文化的なものを教材として活用する。 | 1. 自己紹介ができる。2. 日常的な挨拶ができる。3. 簡単な文章を読むことができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生 特別 科目 | 初級日本語 I C (初級1)〈留〉 | 1年生 | 前 | 課題遂行型(タスク型)の教科書を使って、(1) 音声を聞く(2) 話す活動をする(3) ふりかえる、のステップをくりかえすことで、CEFR-A1～A2レベルの日本語力を身につけることを目指します。聴解音声を使って、ある程度まとまったテキスト(CEFR-A2レベル)のインプットを理解することを旨とします。この授業は4名程度のグループでさまざまな活動を行います。 | CEFR-A1～A2レベルの日本語を聞き取って、理解することができる。CEFR-A1～A2レベルの日本語を聞き取って、それを基に日常生活のやりとりのタスクを遂行できる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生 特別 科目 | 初級日本語 I C (初級1)〈留〉 | 1年生 | 後 | 課題遂行型(タスク型)の教科書を使って、(1) 音声を聞く(2) 話す活動をする(3) ふりかえる、のステップをくりかえすことで、CEFR-A1～A2レベルの日本語力を身につけることを目指します。聴解音声を使って、ある程度まとまったテキスト(CEFR-A2レベル)のインプットを理解することを旨とします。この授業は4名程度のグループでさまざまな活動を行います。 | CEFR-A1～A2レベルの日本語を聞き取って、理解することができる。CEFR-A1～A2レベルの日本語を聞き取って、それを基に日常生活のやりとりのタスクを遂行できる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生 特別 科目 | 初級日本語 I D (初級1)〈留〉 | 1年生 | 前 | 初級日本語IDは発音からスタートする初心者向けの入門コースである。メイン教科書の内容に従って、「基礎発音、単語、文型」という流れに沿いながら基本文型の繰り返し練習と学生の発話訓練に重点を置く。日本語の基礎文法をしっかり身に付け、日常生活に必要なコミュニケーション能力を育てる。 | 1. 日常的な挨拶と簡単な会話ができる。2. 簡単な短文が読める。3. 簡単な作文が書ける。 | ○ | ◎ | ○ |

| | | | | | | | | |
|---------|---------------------|-----|---|---|---|---|---|---|
| 留学生特別科目 | 初級日本語 I D (初級1)〈留〉 | 1年生 | 後 | 初級日本語IDは発音からスタートする初心者向けの入門コースである。メイン教科書の内容に従って、「基礎発音、単語、文型」という流れに沿いながら基本文型の繰り返し練習と学生の発話訓練に重点を置く。日本語の基礎文法をしっかり身に付け、日常生活に必要なコミュニケーション能力を育てる。 | 1. 日常的な挨拶と簡単な会話ができる。 2. 簡単な短文が読める。 3. 簡単な作文が書ける。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | 初級日本語 I E (初級1)〈留〉 | 1年生 | 前 | 初級日本語IEは聴力をメインとする初級者向けの聴解訓練コースである。教科書『日本語聴力第三版学生用書入門編』(中国華東師範大学出版社)の内容に沿い、重要単語や基本文型を繰り返し聞く練習や要点説明を通して日本語を「聞く」力を育成する。また、授業の進度に合わせ、『みんなの日本語初級 I 聴解タスク25』を利用して聴解練習も行い、文脈分析、既知知識を使った予測または推測能力を養成する。 | 1. 日常対話の内容をだいたい理解することができる。 2. 音声と視覚から入る情報との連携ができる。 3. 音声聞きながら、文脈解析がある程度できる。 4. 音声聞きながら、既知知識を使った予測または推測がある程度できる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | 初級日本語 I E (初級1)〈留〉 | 1年生 | 後 | 初級日本語IEは聴力をメインとする初級者向けの聴解訓練コースである。教科書『日本語聴力第三版学生用書入門編』(中国華東師範大学出版社)の内容に沿い、重要単語や基本文型を繰り返し聞く練習や要点説明を通して日本語を「聞く」力を育成する。また、授業の進度に合わせ、『みんなの日本語初級 I 聴解タスク25』を利用して聴解練習も行い、文脈分析、既知知識を使った予測または推測能力を養成する。 | 1. 日常対話の内容をだいたい理解することができる。 2. 音声と視覚から入る情報との連携ができる。 3. 音声聞きながら、文脈解析がある程度できる。 4. 音声聞きながら、既知知識を使った予測または推測がある程度できる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | 初級日本語 II A (初級2)〈留〉 | 1年生 | 前 | 文の構造と意味・機能の総合的理解を目標に、新しい文型を導入し、状況に応じて運用できるようになる練習をする。文法とともに会話力を磨く。 | 1. 物事をより詳しく説明できる。 2. 話者の気持ちをより細やかに伝えることができる。 3. 上記二つの表現を用いてコミュニケーションができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | 初級日本語 II A (初級2)〈留〉 | 1年生 | 後 | 文の構造と意味・機能の総合的理解を目標に、新しい文型を導入し、状況に応じて運用できるようになる練習をする。文法とともに会話力を磨く。 | 1. 物事をより詳しく説明できる。 2. 話者の気持ちをより細やかに伝えることができる。 3. 上記二つの表現を用いてコミュニケーションができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | 初級日本語 II B (初級2)〈留〉 | 1年生 | 前 | さまざまな日常生活の場面で自然な日本語を運用して、日本語能力試験N3レベルの語彙と文法項目を学習します。文法を駆使して、発音、文章を書く練習をします。 | 1. 日本語能力試験N3レベルの語彙と文法を使うことができる。 2. 日本語能力試験N3レベルの発話ができる。 3. 日本語能力試験N3レベルの作文を書くことができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | 初級日本語 II B (初級2)〈留〉 | 1年生 | 後 | さまざまな日常生活の場面で自然な日本語を運用して、日本語能力試験N3レベルの語彙と文法項目を学習します。文法を駆使して、発音、文章を書く練習をします。 | 1. 日本語能力試験N3レベルの語彙と文法を使うことができる。 2. 日本語能力試験N3レベルの発話ができる。 3. 日本語能力試験N3レベルの作文を書くことができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | 初級日本語 II C (初級2)〈留〉 | 1年生 | 前 | 1.初級レベルの文型や語彙を習得し、場面に即した日本語表現を身につけることを目指す。 2. 音声を聞きシャドーイングを行い、聞く力と話す力を養い会話力を身に付けることを目指す。 3.グループワークやロールプレイを用いた日常で使える会話練習を行う。 4.読み書き(ディクテーションも含む)も行い、日本語力を身に付けることを目指す。 | 1. 既習文型を用いて、簡単な日常会話や状況説明ができる。 2. CEFR-A2レベルの日本語を聞き取り、日常生活で起こり得るタスクを遂行できるようになる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | 初級日本語 II C (初級2)〈留〉 | 1年生 | 後 | 1.初級レベルの文型や語彙を習得し、場面に即した日本語表現を身につけることを目指す。 2. 音声を聞きシャドーイングを行い、聞く力と話す力を養い会話力を身に付けることを目指す。 3.グループワークやロールプレイを用いた日常で使える会話練習を行う。 4.読み書き(ディクテーションも含む)も行い、日本語力を身に付けることを目指す。 | 1. 既習文型を用いて、簡単な日常会話や状況説明ができる。 2. CEFR-A2レベルの日本語を聞き取り、日常生活で起こり得るタスクを遂行できるようになる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | 初級日本語 II D (初級2)〈留〉 | 1年生 | 前 | 初級用テキストで学んだ表現を使って出来事や状況を説明したり質問に答えたりする練習をします。パワーポイントを使って住んでいる町や家族を紹介する練習も行います。 | 1. 初級コースで学んだ文法や表現を使うことができる。 2. 場面や話題に応じて会話することができる。 3. パワーポイントを使って紹介することができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | 初級日本語 II D (初級2)〈留〉 | 1年生 | 後 | 初級用テキストで学んだ表現を使って出来事や状況を説明したり質問に答えたりする練習をします。パワーポイントを使って住んでいる町や家族を紹介する練習も行います。 | 1. 初級コースで学んだ文法や表現を使うことができる。 2. 場面や話題に応じて会話することができる。 3. パワーポイントを使って紹介することができる。 | ○ | ◎ | ○ |

| | | | | | | | | |
|---------|-------------------|-----|---|--|---|---|---|---|
| 留学生特別科目 | 初級日本語ⅡE (初級2) (留) | 1年生 | 前 | 初級レベルの文法や語句を使った会話やアナウンス、スピーチなどが正しく聞き取れることを目指します。文法の復修、語彙の意味や使い方を確認した後、問題文で問われている内容を把握し、聴解問題にあたります。そして答え合わせをしながら発音やイントネーション等を確認します。問題にあたった後は、応用練習として会話作成や発表などを行います。 | 1. 自然な速度の会話やアナウンスなどを理解できる。2. 理解した内容に適した返事や対応ができる。3. 日本語を用いたコミュニケーション力を身につけることができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | 初級日本語ⅡE (初級2) (留) | 1年生 | 後 | 初級レベルの文法や語句を使った会話やアナウンス、スピーチなどが正しく聞き取れることを目指します。文法の復修、語彙の意味や使い方を確認した後、問題文で問われている内容を把握し、聴解問題にあたります。そして答え合わせをしながら発音やイントネーション等を確認します。問題にあたった後は、応用練習として会話作成や発表などを行います。 | 1. 自然な速度の会話やアナウンスなどを理解できる。2. 理解した内容に適した返事や対応ができる。3. 日本語を用いたコミュニケーション力を身につけることができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | 中級日本語Ⅰ (留) (初級) | 1年生 | 前 | 専門分野のレポート、論文、専門書などを読むための基本読解能力を養成することを目的とする。『中級を学ぼう(中級前期)』をテキストにして1課ごとに、①読む前の導入、②語彙学習、③学習項目の説明、④学習項目の練習、⑤本文読解、⑥文章・論理の構成、⑦本文要約、⑧読後の課題と現実的意義の順に学習していく。 | 1. 情報検索をしながら読むことができる。2. 文章構成、論理関係が理解できる。3. 論理的文章に使われる頻度の高い文法が理解できる。4. 意見や感想をまとめることができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 留学生特別科目 | 中級日本語Ⅰ (留) | 1年生 | 前 | 専門分野のレポート、論文、専門書などを読むための基本読解能力を養成することを目的とする。『中級を学ぼう(中級前期)』をテキストにして1課ごとに、①読む前の導入、②語彙学習、③学習項目の説明、④学習項目の練習、⑤本文読解、⑥文章・論理の構成、⑦本文要約、⑧読後の課題と現実的意義の順で行く。 | 1. 情報検索をしながら読むことができる。2. 文章構成、論理関係が理解できる。3. 論理的文章に使われる頻度の高い文法が理解できる。4. 意見や感想をまとめることができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 留学生特別科目 | 中級日本語Ⅱ (留) (初級) | 1年生 | 後 | 専門分野のレポート、論文、専門書などを読むための基本読解能力を養成することを目的とする。『中級を学ぼう(中級前期)』をテキストにして1課ごとに、①語彙学習、②学習項目の説明、③学習項目の練習、④読む前の導入、⑤本文読解、⑥文章・論理の構成、⑦本文要約、⑧読後の課題と現実的意義の順に学習していく。 | 1. 情報検索をしながら読むことができる。2. 文章構成、論理関係が理解できる。3. 論理的文章に使われる頻度の高い文法が理解できる。4. 意見や感想をまとめることができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 留学生特別科目 | 中級日本語Ⅱ (留) | 1年生 | 後 | 専門分野のレポート、論文、専門書などを読むための基本読解能力を養成することを目的とする。『中級を学ぼう(中級前期)』をテキストにして1課ごとに、①語彙学習、②学習項目の説明、③学習項目の練習、④読む前の導入、⑤本文読解、⑥文章・論理の構成、⑦本文要約、⑧読後の課題と現実的意義の順に学習していく。 | 1. 情報検索をしながら読むことができる。2. 文章構成、論理関係が理解できる。3. 論理的文章に使われる頻度の高い文法が理解できる。4. 意見や感想をまとめることができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 留学生特別科目 | 上級日本語Ⅰ (留) (初級) | 2年生 | 前 | 読解、会話、聴解、作文を含む活動を通して、総合的な日本語力をつけることを目標とする。『中級を学ぼう(中級中期)』をテキストにして、1課ごとに、①本文の背景知識、②語彙の学習、③学習項目の文法・文型の学習、④学習項目の練習、⑤本文読解・理解、⑥本文要約、⑦関連読み物、⑧読後課題の順に学習していく。 | 1. 必要な情報を引き出して読むことができる。2. 読んで得た情報をまとめることができる。3. 必要な情報を引き出して聞くことができる。4. 聞いて得た情報を伝えることができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 留学生特別科目 | 上級日本語Ⅰ (留) | 2年生 | 前 | 本講義では指定テキスト『4技能でひろがる 中級日本語カルテットⅡ』(前半)を用いて、「読む」「書く」「話す」「聞く」4技能にわたるN2-N1レベルの日本語を学習し、CEFRのB1レベル到達を目的とする。指定テキストは第7課-12課からなる。本講義では第7-9課の学習を通じて、それぞれの課のテーマに応じた4技能の学習を行う。適宜、授業時の課題(スピーチ・ディスカッション)があり、小テスト(第7回)、まとめテスト(第15回)を実施する。 | 1. ストラテジーを用いてテーマに沿ったテキスト内容を理解することができる。2. 図表などを見ながらテーマに沿った音声を理解することができる。3. モデル文があればテーマに沿った短い作文を書くことができる。4. 2. の聴解内容をもとにディスカッションをしたり、モデルがあればテーマに沿ったスピーチを行ったりすることができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 留学生特別科目 | 上級日本語Ⅱ (留) (初級) | 2年生 | 後 | 読解、会話、聴解、作文を含む活動を通して、総合的な日本語力をつけることを目標とする。『中級を学ぼう(中級中期)』をテキストにして、1課ごとに、①本文の背景知識、②語彙の学習、③学習項目の文法・文型の学習、④学習項目の練習、⑤本文読解・理解、⑥本文要約、⑦関連読み物、⑧読後課題の順に学習していく。 | 1. 必要な情報を引き出して読むことができる。2. 読んで得た情報をまとめることができる。3. 必要な情報を引き出して聞くことができる。4. 聞いて得た情報を伝えることができる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 留学生特別科目 | 上級日本語Ⅱ (留) | 2年生 | 後 | 本講義では指定テキスト『4技能でひろがる 中級日本語カルテットⅡ』(後半)を用いて、「読む」「書く」「話す」「聞く」4技能にわたるN2-N1レベルの日本語を学習し、CEFRのB1レベル到達を目的とする。指定テキストは第7課-12課からなる。本講義では第10-12課の学習を通じて、それぞれの課のテーマに応じた4技能の学習を行う。適宜、授業時の課題(スピーチ・ディスカッション)があり、小テスト、まとめのテストを実施する。 | 1. ストラテジーを用いてテーマに沿ったテキスト内容を理解することができる。2. 図表などを見ながらテーマに沿った音声を理解することができる。3. モデル文があればテーマに沿った短い作文を書くことができる。4. 2. の聴解内容をもとにディスカッションをしたり、モデルがあればテーマに沿ったスピーチを行ったりすることができる。 | ◎ | ○ | ○ |

| | | | | | | | | |
|---------|-----------------------------|-----|---|---|--|---|---|---|
| 留学生特別科目 | スキルアップ講座N (能試N1 (文法)対策Ⅰ)〈留〉 | 1年生 | 前 | 日本語能力試験N1合格に必要な文法項目の習得を目指します。N1レベルの文法項目の意味や使い方を学んでいきます。過去問や予想問題集を解くことで実践力をつけていきます。 | 1.日本語能力試験N1レベルの文法項目を理解し、運用できる。2.学習したN1レベルの練習問題に対し、70%以上の得点を取ることができる。3.日本語能力試験N1で70%以上得点を取ることができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | スキルアップ講座O (能試N1 (文法)対策Ⅱ)〈留〉 | 1年生 | 後 | 日本語能力試験N1合格に必要な文法項目の習得を目指します。N1レベルの文法項目の意味や使い方を学んでいきます。過去問や予想問題集を解くことで実践力をつけていきます。 | 1.日本語能力試験N1レベルの文法項目を理解し、運用できる。2.学習したN1レベルの練習問題に対し、70%以上の得点を取ることができる。3.日本語能力試験N1で70%以上得点を取ることができる。 | ○ | ◎ | ○ |
| 留学生特別科目 | スキルアップ講座P (漢字・語彙Ⅰ)〈留〉 | 1年生 | 前 | 毎回10～15の漢字を取り上げ、成り立ち、部首、用法、語彙などの練習をする。受講生には各自のレベルに合わせたプリントを用意するので、それを使い、書き練習・読み練習・作文などを行う。二週目以降は授業開始時に前回授業の復修テストを行う。日本語能力試験受験希望者には受験レベルに応じた漢字教材を与え、読み方、用法を学習する。 | 1.漢字に対する基本的知識を修得することができる。2.漢字を使って日本語の文を書くことができる。3.漢字で書かれた文を読むことができる。4.音読みと訓読みの区別ができる。5.日本語能力試験受験N1～N4合格に寄与できる。 | ◎ | ○ | ○ |
| 留学生特別科目 | スキルアップ講座Q (漢字・語彙Ⅱ)〈留〉 | 1年生 | 後 | 毎回10～15の漢字を取り上げ、成り立ち、部首、用法、語彙などの練習をする。受講生には各自のレベルに合わせたプリントを用意するので、それを使い、書き練習・読み練習・作文などを行う。二週目以降は授業開始時に前回授業の復修テストを行う。日本語能力試験受験希望者には受験レベルに応じた漢字教材を与え、読み方、用法を学習する。 | 1.漢字に対する基本的知識を修得することができる。2.漢字を使って日本語の文を書くことができる。3.漢字で書かれた文を読むことができる。4.音読みと訓読みの区別ができる。5.日本語能力試験受験N1～N4合格に寄与できる。 | ◎ | ○ | ○ |